

本資料のうち、枠囲みの内容は  
防護上の観点から公開できま  
せん。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料	
資料番号	02-工-A-13-0001_改6
提出年月日	2021年9月15日

## 工事計画に係る説明資料

### 浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備

(要目表)

2021年9月

東北電力株式会社

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	取放水路流路縮小工 (第 1 号機取水路) (No. 1), (No. 2)
種 類		—		流路縮小工
主 要 寸 法	外 径 ( 充 填 部 )	m		3.3* <sup>1</sup>
	外 径 ( 覆 工 部 )	m		3.9* <sup>1</sup>
	幅	m		3.5* <sup>1</sup>
	貫 通 部 径	m		
材 料		—	コンクリート	

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 設計確認値（下限値）については、第 1 号機の性能維持施設である第 1 号機原子炉補機冷却海水ポンプ並びに第 1 号機非常用補機冷却海水ポンプ運転時の取水機能に影響を及ぼさない値とし、貫通部径は  m 以上とする。

\*3 : 設計確認値（上限値）については、基準津波の流入による第 1 号機海水ポンプ室での津波高さが、第 1 号機海水ポンプ室の天端高さを上回らない値とし、貫通部径は  m 以下とする。

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	取放水路流路縮小工 (第1号機放水路)
種 類				流路縮小工
主 要 寸 法	外 径 ( 充 填 部 )	— m		4.6* <sup>1</sup>
	外 径 ( 覆 工 部 )	m		5.2* <sup>1</sup>
	幅	m		5.0* <sup>1</sup>
	貫 通 部 径	m		
材 料		—	コンクリート	

注記 \*1 : 公称値を示す。

\*2 : 設計確認値（下限値）については、第1号機の性能維持施設である第1号機原子炉補機冷却海水ポンプ並びに第1号機非常用補機冷却海水ポンプ運転時の放水機能に影響を及ぼさない値とし、貫通部径は□m以上とする。

\*3 : 設計確認値（上限値）については、基準津波の流入による第1号機放水立坑での津波高さが、第1号機放水立坑の天端高さを上回らない値とし、貫通部径は□m以下とする。

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。